

大阪狭山市教育大綱

令和2年2月

大阪狭山市

1. 基本理念

本市は、平成27年3月に策定した「第1期大阪狭山市教育振興基本計画」にもとづき、「学びあい、つながりあい、未来に輝く人づくり」を基本理念とし、さまざまな教育施策を展開してきました。

この基本理念は、少子高齢化やグローバル化がすすむ社会環境へ対応できる人づくりや、地域社会での人間関係の希薄化に対応する環境づくりをすすめるうえで、今後も必要な教育の方向性を示しています。従って、本大綱でも、これまでの基本理念を継承することとしました。

変化の激しい時代にあって、大阪狭山市民がつどい、学びあい、助けあうことによって、一人ひとりが楽しく、豊かで健康な生活を送ることをめざします。

そのためには、さまざまな課題を乗り越えていく市民の主体性を生み出す力を育み、お互いがつながることによって、まちづくりに取り組んでいく教育を創造します。

また、子どもたちが必要とされる学力を身に付け、学びに向かう力や人間性を育てるとともに、ふるさと大阪狭山市を愛する心を大切にする教育をすすめます。

学びあい、つながりあい、未来に輝く人づくり

「学びあい」は、生涯にわたり、家庭や地域社会、学校や職場といったそれぞれの場でのかわりあい、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあい、多様なあり方を認めあいながら幅広い知識や考え方を学びあう主体的な活動を示しています。

「つながりあい」は、主体的に人とのネットワークを幅広く育み、つながりの力を大切にする活動を支える本市の教育のあり方を示しています。

そして、「未来に輝く人づくり」は、つながりを深めることによって、人・地域が輝き、人づくりがまちづくりの礎であるとの大阪狭山市のまちづくりの姿勢と教育がめざす方向性を示しています。

【めざす子ども像】

国や府の関連計画の方向性と、第五次大阪狭山市総合計画や本市が直面する社会情勢などを踏まえ、「学びあい、つながりあい、未来に輝く人づくり」の基本理念が表す子ども像を明確にします。

自分らしく、いきいきと学び、さやまを愛する子

「自分らしく」とは、自分をかけがえのない存在と実感し、夢や志に向かって、自分の力や個性を最大限発揮するとともに、思いやりの心や規範意識、自尊感情を持ち、よりよい人間関係を築こうとする子どもの姿をめざしています。

「いきいきと学び」とは、学ぶことに喜びを抱き、自ら学び、課題を見つけ、主体的に判断し、可能性にたくましく挑戦しようとする子どもの姿をめざしています。

「さやまを愛する子」とは、豊かな自然に囲まれ、歴史と文化が息づく大阪狭山市の恵まれた環境のなかで、ふるさと「さやま」のすばらしさに自ら気づき、伝統や文化を尊重し、未来の「さやま」を創造しようとする子どもの姿をめざしています。そして、人・地域・歴史文化とのつながりあいのなかで、郷土への誇りと愛着を育み、時代の変化にも翻ろうされずに、生涯輝くことができる力を備えた子どもの育成をめざします。

2. 基本方針

基本方針1 これからの社会を生き抜く力を養います

【 重点目標 】

- (1) 遊びを通して豊かに学ぶ就学前教育・保育の充実
- (2) 社会の変化に即した新たな学びの展開
- (3) 豊かな心と健やかな体を育てる教育の推進
- (4) 教職員の資質向上

基本方針2 一人ひとりを大切にする教育を推進します

【 重点目標 】

- (1) 子ども理解と支援教育の充実・推進
- (2) 個の成長を支える教育の充実
- (3) 安全安心な学校生活の確保
- (4) 多様性理解の促進

基本方針3 持続可能な社会のための教育環境を充実します

【 重点目標 】

- (1) 時代の変化に対応した学習環境などの整備
- (2) 学校経営改革の推進
- (3) 家庭教育の支援
- (4) 地域の教育力の育成と社会に開かれた教育課程の実現

基本方針4 郷土を愛し自ら学び、高めあう学習を推進します

【 重点目標 】

- (1) 生涯スポーツ活動の推進
- (2) 生涯学習や文化芸術活動の推進
- (3) 歴史文化遺産の継承と活用
- (4) 郷土愛の育成

3. 施策の体系

[基本理念]

[基本方針]

[重点目標]

